

平成27年（2015年）8月1日発行

学園創立108周年 学園協議会開催

柳澤理事長講演

学園創立110周年、大学設立50周年を見据えた

「学園強化プロジェクト」について

梅雨の晴れ間となった6月28日（日）、本学宮代キャンパスの学友会館ホールにて学園協議会が開催された。

学園創立から108周年となる今回は、大川名

管理理事長をはじめとする理事・監事・評議員、法人本部、駒場中学・高等学校へ入職した教員を対象と



プロジェクトについて講演する柳澤理事長

学校、専門職大学院、神田情報ビジネス専門学校、そして本学の教職員と、総勢100名を超える学園の関係者が出席した。

当日は、まず午前10時より、主に平成26・27年度に駒場中学・高等学校の設備に見入っていた。

そして、午前11時45分より、柳澤理事長の挨拶で第8回目となる学園協議会が幕を開けた。

学園創立110周年、大学設立50周年を目前に控えた今回の講演は、「学園強化プロジェクト」についてをテーマに柳澤理事長より行われた。若年人口が減少する厳しい環境の中、教学運営・管理運営を強化し、どのように学園を改革していくのか、未来を見据えた話に、参加者は熱心に耳を傾けていた。



協議を行う4大学の学長（波多野学長は右奥）

彩の国連携力育成プロジェクト
学長会議を開催

6月25日（木）、埼玉

県立大学、埼玉医科大学、城西大学と本学で実施している「彩の国連携力育成プロジェクト」の学長

会議が大宮ソニックシティの会議室で開催された。同会議の目的は、学

長のリーダーシップによって同プロジェクトを確

実に進捗させるため、4大学の学長が集まり、取り組みの現状と今後の計画を確認・協議することである。年一回開催され、今回で3回目となった。本学の波多野学長を含む4大学の学長とプロジェクトメンバーの代表、埼玉県保健医療部保健医療政策課の職員ら総勢32名が出席した。議長校は持ち回りとして、今年度は城西大学が担当した。

まず専門職連携（I-PW）関連科目の共同開講に向けた取り組みなど、昨年度の事業報告が行われた。続いて外部評価委員会の報告が行われ、今年度の事業計画について説明がなされ、質疑応答の後、了承された。

最後に、5年度に亘るプロジェクトの4年度目を迎えたことから、改めて本プロジェクトの成果を4大学の教育内容に反映させていくことが確認された。今年度、文科省の補助期間終了後の取り組みに向けた行動計画を策定することとなった。学

長会議を経て、同プロジェクトのますますの進捗が期待される。

続いて会場を第一食堂に移し、第2部の懇親会が行われた。普段なかなか会うことのできない学園関係者同士が一堂に会する場ということもあり、終始話が尽きず、にぎやかな会となった。

関係者などで満席の250人であった。

ホームカミングデーには、本技術経営研究科の1期から10期までの修了生と現役院生など120人が参加。波多野学長の挨拶、初代研究科長村川正夫名誉教授の乾杯の音頭が始まり、本年度のMOT大賞受賞者である株式会社住田光学ガラスの大和紀雄氏（7期生）の表彰の後、各期別に修了生・現役院生が順番に自己紹介、近況報告などを

行い、各期を越えた交流が進んだ。また、多数の専任教員や客員教授、元教授も参加し、修了生との親交を深めた。解散後は、それぞれ思いを持ちながら二次会、三次会へと分か

れていった。

修了生は現在264人であるが、5年後には500人以上の修了生輩出を目指しており、わが国の中堅

中小企業活性化の重要拠点となることが期待される。

専門職大学院開学10周年記念

中小企業技術経営シンポジウム

ホームカミングデーを開催

専門職大学院（大学院技術経営研究科）では5月23日（土）、開学10周年を記念し、中小企業技術経営シンポジウムとホームカミングデーを学士会館（千代田区神保町）において開催した。

後、中小企業庁企画課調査室水野正人室長が「中小企業白書2015年のポイント」をテーマに基調講演を行った。続いて「中小企業の成長とイノベーション」をテーマに、先進的な中小企業経営者、金融機関、公的支援機関、大学など産学官

で構成される「中小企業技術経営研究会」のメンバーより、今後の中小企業の活性化に向けた「経営者のチャレンジ精神の醸成」「次世代型ビジネスモデル」の実現などに

関する具体策が提案された。参加者は中小企業経営者、自治体、金融機関

関係者などで満席の250人であった。

ホームカミングデーには、本技術経営研究科の1期から10期までの修了生と現役院生など120人が参加。波多野学長の挨拶、初代研究科長村川正夫名誉教授の乾杯の音頭が始まり、本年度のMOT大賞受賞者である株式会社住田光学ガラスの大和紀雄氏（7期生）の表彰の後、各期別に修了生・現役院生が順番に自己紹介、近況報告などを

行い、各期を越えた交流が進んだ。また、多数の専任教員や客員教授、元教授も参加し、修了生との親交を深めた。解散後は、それぞれ思いを持ちながら二次会、三次会へと分か

れていった。

修了生は現在264人であるが、5年後には500人以上の修了生輩出を目指しており、わが国の中堅

オープンキャンパス

6/7(日)に今年度第1回を開催

当日は、大勢の高校生や保護者の方に参加していただいた。平成28年度の入試概要が明らかになり、授業体験や個別進路相談会、保護者説明会、女子向けプログラムなどが好評であった。



今後のスケジュール

NIT 夏のオープンキャンパス

8/1(土)・2(日)・22(土) 9/13(日)

オープンキャンパス・進学相談会

11/21(土)

■各開催日とも11時開始(ランチ付き) ■無料バスを運行
■事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます

WEEKDAY CAMPUS VISIT

授業体験型オープンキャンパス

10/12(月・祝)

お問い合わせ・お申込み先：日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp

詳細は本学 WEB サイトをご覧ください

コンテストの参加者を募集しています！！

第7回3D-CADプロダクトデザインコンテスト



エントリー締切 8/22 結果発表表彰式 10/25

3次元CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマ、CG、自由の3部門。優秀作品は加工して展示後、お渡しします。

作品送付先／お問い合わせ先

3D-CAD プロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL:0480-33-7619 E-mail:nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/

第29回 建築設計競技



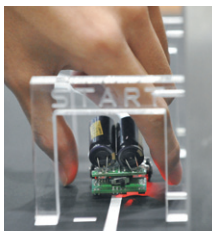
提出期限 8/27 入賞発表 9月上旬

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築デザイン学群の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「つながる家」です。

作品提出先／お問い合わせ先

建築設計競技委員会
TEL:0480-33-7681 E-mail:kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html

第9回 マイクロロボコン高校生大会



エントリー締切 8/29 開催日 9/12

約1インチサイズの小型ロボットによるライントレース競技。初心者でも競技参加しやすいようノビス部門も設置しています。全員完走を目標に、今夏も学内外で講習会を実施します。

お問い合わせ先

創造システム工学科 櫛橋康博
TEL:0480-33-7718 E-mail:kusihashi@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第19回 スターリングテクノラリー



申込締切 9/10 開催日 11/7

人間乗車、RC、宙返り耐久、ミニ速度、マイクロ、クワラの6クラスで、自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競います。小・中・高・大学生から一般の方まで参加できます。

申込先／お問い合わせ先

スターリングテクノラリー技術会事務局 松尾政弘
TEL&FAX:048-858-3098 E-mail:stirling@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

ISO定期サーベイランス審査報告

組織的な環境マネジメントシステムの
継続的な維持改善を高評価

5月19日(火)、20日(水)の2日間わたって、①環境目的・目標、実施計画の進捗状況・達成度②法のおよびその他の全要求事項の順守③マネジメントレビューにおいてPDCAが機能し、かつ、次年度の目的・目標に適正に反映される環境管理活動の検証④内部監査の厳格な実施等の4項目を重点に審査が行われた。

初日は、代表経営責任者と環境管理責任者へのトップマネジメントインタビュ。また、ESD

今夏の節電への取組み

照明削減、空調輪番停止などで
CO₂の20%削減を目指す

本年度は経済産業省から「数値目標を伴わない節電」の要請があり、埼玉県地球温暖化対策推進条例の削減目標率(基準値)は、基準年(CO₂排出量: H17年・19年の平均値)比15%削減が目標とされている。本学では例年同様「快適な教育環境と持続的発展が可能な地球環境の保全」をコンセプトに基準値を20%



生活環境デザイン学科・足立研究室での審査

削減として定め、7月1日(水)～9月30日(水)の8時30分～21時の期間で節電に取り組む。具体的には①照明削減の継続(節電率30%削減/月)②空調機の輪番5分間停止(30分間の内5分停止)対象時間は



10時～18時③外気温度26度以下で空調(熱源)停止④節電ポスターによる啓発等である。

バスに設置した「防災用井戸水浄化装置」は、さらなる安心・安全体制の確立、また地域の防災拠点としても貢献できるとして評価された。総括では組織のEMSが継続的に維持改善されていることを確認。特に、「5つ星エコ大学受賞」は、「活動に対するモチベーションアップに繋がっている」との評価であった。

学び続けることの重要性

専門職大学院だより

大学院技術経営研究科

教授 萬代 憲司

変化のスピードが増してきた今日において成果を出すためには、ラーニング・アジリティ(学習機敏性)が重要になってきている。これは、常に新しい知識や情報を得ながら実際に試行し、その経験から素早く学び、経験したことのいい初めの環境下でも、その学びを応用して成功に導くこ

とができる能力を指す。専門職大学院において社会人学生と接しているとき、正にラーニング・アジリティを発揮していることを肌で感じられる。実際に授業で学んだことを職場で実践し、次の授業にはその結果から学んだことをベースに提案してくる。これは学習した知識を経験に変えてい

ドゥエックは、フィードバックを受け入れられないのは「自分が賢く見られたい」という気持ちからフィードバックは自分を否定していると感じ、反発してしまうと言っている。逆に「学習したい」という気持ちが強い人は、フィードバックを自分の学習の一助として捉えることができるのである。こうして考えると、学習するのは学校だけではなく、どのような場所でも可能なことがわかる。

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)

- ＊環境共生システム学専攻
- ＊機械システム工学専攻
- ＊電子情報メディア工学専攻
- ＊建築デザイン学専攻

■平成28年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成27年9月18日～9月25日	10月1日	10月9日	平成28年1月21日
二次募集	平成28年2月10日～2月17日	2月24日	3月4日	平成28年3月10日

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

平成28年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程								
特別奨学生入試	第1期 単 願	奨学生には、1年次の授業料の全額（98万円）または半額（49万円）を免除 第1期 ・書類審査および面接による選考 第2期 ・筆記試験、調査書および面接による選考 ・検定料割引制度あり	第1期			第2期					
			申込期間	9/ 1(火)～9/ 8(火)			1/ 6(水)～1/22(金) *出願書類を持参する場合には、1/23(土)・25(月)に入試室窓口で出願を受け付けます。				
	面接日と面接会場		9/12(土) 本学								
	内定日		9/16(水)			1/31(日)～2/ 2(火) 本学 *1/31(日)～2/2(火)のうち、1日を選択して受験。 2/ 6(土) 16:00					
	出願期間		9/17(木)～9/30(水)								
	第2期 併願可		試験日と試験会場				3/10(木)				
			合格発表日	10/10(土)							
専門高校入試 (S 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・国公立大学等との併願に最適	入学手続締切日	第1回	10/20(火)		3/10(木)				
			第2回	1/19(火)							
	申込期間		9/ 1(火)～9/ 8(火)					11/24(火)～12/ 8(火)			
	面接日と面接会場		9/12(土) 本学								
	内定日		9/16(水)								
	出願期間		9/17(木)～9/30(水)								
	合格発表日		10/10(土)								
専門高校入試 (B 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・公募制	入学手続締切日	1/19(火)					12/11(金) 東京 12/12(土) 本学		
			出願期間	11/ 2(月)～11/6(金)							
	面接日と面接会場		11/13(金) 東京 11/14(土) 本学					12/19(土)			
	合格発表日		11/25(水)								
	入学手続締切日		第1回	12/ 1(火)		1/19(火)					
	第2回		1/19(火)								
	AO入試 AOエントリー入試 AOコーディネータ入試		併願可	AOエントリー入試 ・適性評価（面談・提出課題）および書類審査（エントリーシート・調査書）による選考 AOコーディネータ入試 ・書類審査および面接による選考	AOエントリー入試	第1期	第2期		第3期		第4期
エントリー期間		8/ 1(土)～8/ 5(木)				9/12(土)～9/18(金)		11/4(水)～11/12(木) *11/21(土)の進学相談会でエントリー可(同日に第1回面談を実施)		1/29(金)～2/25(木)	
面談日		8/1(土)・2(日)・22(土)・29(土)				9/13(日)・19(土)・26(土)・10/3(土)		11/21(土)・28(土)		書類受处理后に連絡 3/3(木)まで	
内定日		9/1(火)					10/8(木)		12/1(火)		
コーディネータ入試の申込期間		8月1日(土)～平成28年2月25日(木)まで、随時受付									
出願期間		9/2(水)～9/7(月)			10/9(金)～10/14(火)		12/3(木)～12/10(木)		2/26(金)～3/7(月)		
書類審査等											
合格発表日		9/12(土)			10/24(土)		12/19(土)		3/14(月)		
入学手続締切日		第1回	9/24(木)		11/ 5(木)		1/19(火)		3/24(木)		
第2回		1/19(火)			1/19(火)						
一般推薦入試 (公募制)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・専門高校（工業科）以外の生徒を対象 ・公募制	第1期			第2期					
			出願期間	11/ 2(月)～11/ 6(金)			11/24(火)～12/ 8(火)				
	面接日と面接会場		11/13(金) 東京 11/14(土) 本学			12/11(金) 東京 12/12(土) 本学					
	合格発表日		11/25(水)			12/19(土)					
	入学手続締切日		第1回	12/ 1(火)		1/19(火)					
	第2回		1/19(火)								
	一般入試		併願可	・筆記試験および調査書による選考 ・検定料割引制度あり	一般入試 A			一般入試 B			
出願期間		1/6(水)～1/22(金)* *本学会場における受験を希望する方で、出願書類を持参する場合には、1/23(土)・25(月)も入試室窓口で出願を受け付けます。			2/2(火)～2/12(金)* *本学会場における受験を希望する方で、出願書類を持参する場合には、2/13(土)も入試室窓口で出願を受け付けます。						
試験日		・試験日を変えて、同一学科の複数回受験あるいは他学科の受験が可能	1/31(日) 本学・郡山・水戸・高崎 柏・東京・横浜・静岡 2/ 1(月) 本学・仙台・東京・新潟・長野・富山 2/ 2(火) 本学・宇都宮・千葉・東京			2/18(木) 本学・東京					
合格発表日		2/ 6(土)16:00			2/24(水)16:00						
入学手続締切日		2/16(火)			3/ 2(水)						
センター利用入試		併願可	・平成28年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 ・検定料割引制度あり		センター利用入試 A		センター利用入試 B		センター利用入試 C		
					出願期間	1/6(水)～1/28(木)		2/2(火)～2/12(金)* *出願書類持参の方に限り、2/13(土)も入試室窓口にて出願を受け付けます。		2/26(金)～3/7(月)	
	センター試験実施日			1/16(土)・17(日)		※本学での個別学力試験等は実施いたしません					
	合格発表日			2/6(土)16:00		2/24(水)16:00		3/14(月)			
	入学手続締切日			2/16(火)		3/24(水)		3/24(木)			

・専門高校入試(A 工業科) および一般推薦入試(指定校)については、2016受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先: 入試室 TEL 0120-250-267

講演会、懇親会を開催

本学卒業教職員の集い



最新の脳科学について解説する桑原氏

6月13日(土)、学会館ホール他で「本学卒業教職員の集い」(実行委員会)を開催した。全国の中学校、高校等の教職員と工友会総会参加者約70名に加え、大学教職員、学生120名以上が参加した。初めに、教職員研究発表は、埼玉県立浦和工業高等学校教諭村田憲一郎氏から「社会に貢献できる人材の育成を目指したキャリア教育計画の推進」と題して、高校三年間の取り組み報告があり、次に、埼玉県北葛飾郡杉戸町立杉戸中学校教頭田口弘氏より「ものづくり人づくり」と題する、自身の経験を踏まえた提言があった。

続いて、波多野学長より学園創立110周年、大学設立50周年記念事業等について、画像を交えて説明が行われた。講演会では脳科学教育研究所長の桑原清四郎氏が「最新の脳科学の知見に学ぶこと」をテーマに進」と題して、脳

の仕組みや働き、次に「脳の原則8カ条」などについて解説。「脳が働く人を育てる」というキーワードが示された。今回の懇親会は、工友会総会参加者と初めて合同で開催された。大学教職員との交流の輪が広がることも、同じ卒業生という共通点もあって情報交換が活発に行われた。間もなく節目となる大学を改めて見つめ直し、在学当時の思い出を大いに語るよい機会として、今後も参加を期待したい。

保護者のための
就職ガイダンス

個別就職相談会

対象 学部4年生、大学院2年生の未内定の学生の保護者
日時 平成27年10月3日(土) 9:00～16:00
場所 日本工業大学 就職支援課
対象の皆様には、9月上旬にご案内をお送りいたします

お問い合わせ先

日本工業大学 就職支援課
TEL:0480-33-7510 FAX:0480-33-7562
E-mail:syusyokuka@nit.ac.jp

精密測定技術振興財団 品質工学賞論文賞受賞



機械工学科の二ノ宮進一准教授が6月15日（月）、精密測定技術振興財団の品質工学賞論文賞を受賞した。受賞論文名は「大型プラントのメンテナンスに用いる硬質肉盛溶接材料の仕上げ加工の自動化」。

日本建築学会 作品選集新人賞受賞



建築学科の吉村英孝准教授が日本建築学会の2015年作品選集新人賞を受賞した。受賞作品名は「日本工業大学W2棟」。

日本建築学会 奨励賞受賞



建築学科の徐華准教授が日本建築学会の2015年奨励賞を受賞した。受賞作品名は「処理的作

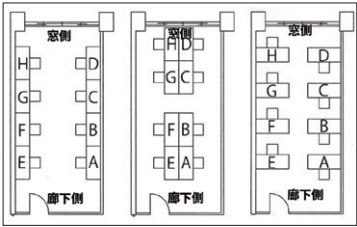
業の効率性及び心理評価ー研究執務空間のレイアウトに関する研究」。

本研究は、研究執務空間における個人の処理的作業の効率性や心理的快適性の向上を目指し、机の配置との相関関係を比較検討している。実験は

W2棟は生活環境デザイン学科の実験研究棟として平成25年5月に宮代キャンパス内に竣工された。一部の屋根や壁の鉄骨が剥き出しになっていたり、自動ドアの制御機器等のカバーを透明にして内部を見せるなど、一般の教室や実習室にはない特徴を備えており、建築を学ぶ学生にとって生きた教材として活用されている。そうした教材と



W2棟のエントランス付近



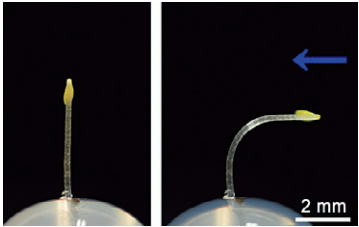
壁型（左）や島型（中）など机配置の一例

しての機能面のほか、創造性を感じさせる空間デザイン、建物構成などが高く評価された。結果、壁型配置は島型配置より明らかに作業の効率性が高く、情緒的心理評価が高い。島型配置は空間的心理評価が高い。綿密な実験計画と丁寧で論理的な分析は当分野の基盤となり得る信頼性の高い研究であると高く評価された。オフィス等への応用が期待される。

植物の光感受性変換機構 共同研究の成果を発表



共通教育系の芳賀健講師は新潟大学の酒井達也教授らの研究グループとともに、植物の光環境認識に働く光センサー「フォトトロピン」に光感受性の変換をもたらす分子機構が存在すること



植物が光源の方向に成長する光屈性の例

を明らかにした。本研究成果は米国植物生理学会誌「THE PLANT CELL」のオンライン

版（日本時間4月15日）に掲載されている。植物が光源へと成長方向を変化させることを光屈性という。植物は極微弱光の光源では光感受性の高い光センサー、太陽

工業技術博物館後援会 特別講演会・総会を開催

7月3日（金）の午後、学友会館で工業技術博物館後援会の春季特別講演会並びに第25回総会が開催された。



講師の早野氏

特別講演会では、近年大きな話題となっている3Dプリンタ）を取り上げ、株式会社アスペクト代表取締役の早野誠治氏を招いて「AM（3Dプリンタ）の最新動向と今後の展望」という題目で講演して頂いた。これまでの除去加工、成形加工に続く「第3のものづくり法」ともいわれるこの

のような明るい環境では光感受性の低い光センサーを使い分けて光強度の大きく異なる環境を認識している。芳賀講師らは植物の光屈性反応に働く光センサー「フォトトロピン」が極微弱光から強光まで8桁以上の光強度の異なる光環境で働くことに着目し、同じ光

方法について、定義・分類から、各方法の特徴・応用・用途、装置の動向、取り巻く環境と市場動向、普及への提言、我が国の政策まで、多くの図表を用いて詳細に話された。後援会会員のほか、理事長、学長等本学幹部、

センサが光感受性を変換し、異なる強度の光を認識することを初めて明らかにした。本研究成果を発展させることにより、将来的には環境適応性を増した植物の開発や一次生産を担う植物の物質生産性を高めることに繋がると考えられる。

平成27年度出前授業プログラム

昨年度は95回実施、5,626名が受講

平成27年度の出前授業プログラムは、全国の工業高等学校及び高大連携校に4月に配布している。出前授業は、全国の工業高校や普通高校、小・中学校等で実施されている。平成26年度の実施回数は95回、受講者数は5,626名であった。

出前授業プログラムは、下表のとおり計

119テーマが用意されている。プログラムの内容は、各学科の専門性を生かし、高校生たちの疑問に答えるものである。高校生が工学や理学の世界に興味を持ち、その世界に導かれるよう工学技術をわかりやすく説明している。

学 科	テーマ数	内 容
機械工学科	20	「ロボット技術の使い方」など
ものづくり環境学科	11	「家の中の地球資源を考えよう」など
創造システム工学科	15	「モーターの豆知識」など
電気電子工学科	18	「のぞいてみよう」ナノの世界」など
情報工学科	20	「どこでもコンピュータ」など
建築学科	12	「環境に優しい住宅の設計手法」など
生活環境デザイン学科	9	「生活を彩るロジリアのデザイン」など
共通教育系	14	「セグウェイで体感するロボット制御の基礎」など

杉戸宿400周年事業始動

有識者委員会座長に波多野純学長が就任

平成27年度第一回杉戸宿魅力再発見有識者委員会が、6月26日（金）に開催された。座長には前年に引き続き波多野純学長が就任。当日は主に推進体制及び方向性について話し合われた。具体的には、本年度は前年度の有識者委員会を基軸とした体制を踏襲するなかで新たに実行委員会組織「杉戸宿開宿400年プロジェクト会議」が設けられた。さらには、前年度設置した作業部会「食資源開発部会」は継続・拡充し、新たに「にぎわ



町内各所に設置されている杉戸宿案内板



各学科の担当者からキャンプの実施報告が行われた

第47回教育改革シンポジウム フレッシュマンキャンプPDCA

フレッシュマンキャンプは、入学直後に新入生同士、さらには新入生と教員および上級生との交流を図ることによって、お互いの親睦を深めることを目的とする取り組み

である。平成25年度からスタートした。このフレッシュマンキャンプが今年で3回を数えたことから一区切りをつけ、「PDCA」と題した文字通りのマネジメントサイクルを達成させるべく6月11日（木）にシンポジウムが開催された。

試行錯誤から始まったこの取り組みも3年が経過し、それぞれの学科には確かなノウハウが蓄積されてきている。今回のシンポジウムでは、はじ

めに各学科のフレッシュマンキャンプの内容と成果の報告があった。その後、それぞれの学科に引率として帯同した事務職員が意見を述べた。

各学科の実施内容にはそれぞれの特徴があり、体験を重視した見学などのイベントを入れる学科もあれば、レクリエー

ションを中心としたコミュニケーションを取り合つことを重視した企画の学科もある。開催場所も、遠方へ出かける学科もあれば、学内を活用す

る学科もある。特徴的なものは、ものづくり環境学科である。宿泊場所はキャンパス内の合宿所であった。食材の買い出しから始める夕食作りやスポーツ競技のイベントなどの企画を盛り込んだ。しかもこれら企画の運営を上級生が担当した。上級生にとっても格好のPBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）になったようである。いずれの学科ともに新入生には好評であり、友達作りのきっかけとなったと回答する学生は8割を超えている。来年度以降のさらなる展開に期待したい。

女子レスリング
五輪金メダリスト

吉田沙保里氏が講演

5月30日(土)、4号館401教室において今年で4回目となる体育会と学生支援部共催のアスリート講演会が開催された。今回は、オリンピック金メダリストで世界選手権15連覇中女子レスリン

グ日本代表の吉田沙保里選手、長年指導に携わっている日本レスリング協会強化委員長の栄和氏を講師として招いた。土曜日も関わらず、多くの教職員、学生が聴講した。吉田選手の実績や活躍



金メダルを披露する吉田選手(右)と栄監督

は周知の通りであるが、今回の講演では、幼少のころ練習のため友達となかなか遊ぶことが出来ず、辞めたいと悩んだ話や試合で勝てなくなった時の立ち直り方などについての話があり、アスリートならずとも大変参考になる内容であった。栄監督も自身の選手時代の葛藤や指導者としての苦勞について語った。全体を通じて2人の掛け合いが大変絶妙で、それだけで監督と吉田選手の間に固い信頼関係や絆を感じることができた。

講演会の後半には吉田選手のサイン色紙をかけたじゃんけん大会や、貴重な実物のオリンピック金メダルを披露しての撮

第4回留学生交流ツアー

日光で歴史と自然を満喫



奥日光での記念撮影

とを目的としている。今年度から1泊2日となったことで時間的な余裕ができ、留学生達には非常に好評であった。

今回の訪問地は、栃木県の日光方面。初日は雨模様であったが、2日目は幸運にも晴天に恵まれた。歴史的建築物の見学だけでなく、戦場ヶ原の散策等も体験することができた。また伝統工芸の「日光彫り」体験教室では、七寸丸盆に「眠り猫」

地域別教育懇談会開催日程
今年も全国22ヶ所で開催

開催日	主催	開催会場	対象地域
8/30(日)	北海道	札幌市・KKRホテル札幌	北海道
〃	四国	高知市・高知県立県民文化ホール	四国
〃	九州	鹿児島市・かごしま県民交流センター	九州
9/5(土)	岩手県支部	花巻市・渡り温泉	岩手県
〃	福島県支部	郡山市・清陵山倶楽部	福島県
9/6(日)	栃木県支部	宇都宮市・ホテル丸治	栃木県
〃	群馬県支部	高崎市・高崎ビューホテル	群馬県
〃	近畿支部	尼崎市・ホテルホッピンアミング	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
9/12(土)	茨城県支部	土浦市・ホテルマロウド筑波	茨城県
〃	長野県支部	長野市・長野第一ホテル	長野県
〃	山梨県支部	笛吹市・ホテル春日居	山梨県
9/19(土)	静岡県支部	静岡市・アイワンホール	静岡県
9/21(月・祝)	新潟県支部	長岡市・長岡グランドホテル	新潟県
9/26(土)	秋田県支部	秋田市・秋田温泉さとみ	秋田県
〃	蔵王支部	山形市・悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県
〃	千葉県支部	千葉市・バーディーホテル千葉	千葉県
〃	北陸支部	富山市・富山電気ビルディング	富山県・石川県・福井県
9/27(日)	青森県支部	青森市・青森国際ホテル	青森県
10/4(日)	近県	大学	東京都・埼玉県・神奈川県
10/10(土)	西中国支部 東中国支部	広島市・コンフォートイン広島平和大通	広島県・山口県・島根県 岡山県・鳥取県
〃	沖縄県支部	那覇市・沖縄県青年会館	沖縄県
10/11(日)	東海支部	名古屋市・東京第一ホテル錦	愛知県・岐阜県・三重県

※日程および会場は都合により変更になる場合があります。詳細はご自宅に送付される案内をご覧ください。

ホームカミングデーのご案内

16回目を迎えるホームカミングデーが、若杉祭期間中の11月1日(日)に開催される。卒業生、恩師、および現職の職員・教員の出席者は毎年600名を越える。この日には研究室OB会や、工友会の学科支部総会なども開催される。また、学内見学ツアーを実施する。ご家族連れで、または同期の仲間と連れ合っでの参加を歓迎している。詳しくは、工友会および大学ホームページをご覧ください。



影会が催され、大いに盛り上がった。今回は、我々がテレビなどで目にする、レスリングスーツを身に纏い、闘志をむき出しにした吉田選手ではなく、一人の素敵な女性としての一面を垣間見ることのできた、大変素晴らしい講演会となった。

宮代会総会
新会長に沼尻裕之氏が就任
7月11日(土)午後3時より、群馬県伊香保温泉の「ホテル木暮」にて宮代会の総会が開催された。当日は、全国から23名の会員が参加。議事は、慎重審議の上、全て了承された。新会長には沼尻裕之氏(第37代後援会長)が就任

工友会定時総会
土井嘉豊氏が会長に再任
6月13日(土)、一般社団法人日本工業大学工友会定時総会が学友会館にて開催された。第1号議案では、平成26年度事業報告・収支報告・監査報告、第2号議案では、平成27年度事業

人事異動
【退職】
(6月10日付)
◆秋山純一 財務課事務職員
(6月30日付)
◆井上総枝 入試室事務職員
副会長に大島敏正氏、横山賢二氏、事務局長に清水博幸氏が選出された旨が報告された。

国外出張
◆呉 志良准教授(留学先別科)／出張先〓中国(6/5〓6/14)／目的〓留学フェアの参加における学生募集活動
◆古閑伸裕教授(機械工学科)／出張先〓ベトナム(6/6〓6/10)／目的〓ベトナム協定機関における学生募集活動
◆VUTHI HUY EN(留学生別科)／出張先〓ベトナム(6/6〓6/11)／目的〓同前
◆吉田 清教授(電気電子工学科)／出張先〓ドイツ(6/7〓6/12)／目的〓IEC(国際電気標準会議)TC94国際会議へ出席
◆吉野秀明教授(電気電子工学科)／出張先〓イギリス(6/7〓6/14)／目的〓2015年IEEE通信に関する国際会議ICCの運営・委員参加
◆黒津高行教授(生活環境デザイン学科)／出張先〓ニネパール(6/10〓6/18)／目的〓ニネパール国復興支援調査に係る文化遺産の被災状況調査
◆西本真一教授(建築学科)／出張先〓ニネパール(6/10〓6/18)／目的〓同前
◆高瀬浩史准教授(情報工学科)／出張先〓ドイツ(6/21〓6/28)／目的〓国際リーダーシップ・シンポジウム2015において研究発表
◆梅崎栄作教授(機械工学科)／出張先〓イタリア(6/22〓6/28)／目的〓第13回クマムシに関する国際シンポジウムにて研究発表
◆松田 洋准教授(情報工学科)／出張先〓タイ(6/27〓6/30)／目的〓コンピュータ科学と情報工学に関する国際会

訃報
竹内淳彦さん
学校法人日本工業大学名誉理事・日本工業大学名誉教授
平成27年6月19日逝去
謹んで御冥福をお祈りいたします

編集後記
▼本田技研工業の創立者、本田宗一郎をご存じの方は多いだろう。オートバイ自動車販売から徐々にマーケットを拡大し、世界的トップメーカーに成長させたいわば、伝説上の人物でもある▼彼の著書に『私の手が語る』がある。その中に「人間が、色々な問題にぶつかって、はたと困る、ということはすばらしい、チャンスなのである。」といった文章を見つけた▼この言葉は彼の考える「真の教育論」と理解してよいだろう。自分でトライして、それでも駄目なら、他者の手を借りてよいと読み解くことが出来よう。他者の存在を知るだけでも無駄にはならないからだ▼まさに、「苦境」であるからこそ真の教師なのだと教示している。現代の教育に対する、彼の舌鋒は鋭い。学校や教師に対する批判ばかりではなく、家庭教育についても厳しい言を発している▼再度読み返したい。【信

町代より
196号
第32回
宮代町民まつり
8月22日(土)、23日(日)の2日間、進修館周辺で、第32回宮代町民まつりが開催されます。日中は、ミュージックサマーフェスティバルをはじめ、日本工業大学の学祭実行委員会や学生環境推進委員会の皆さんによるゲームやクイズなど、楽しいイベントが盛りだくさん。また、夕方から夜にかけては、駅前通りに露店が並び、進修太鼓の力強い演奏が一層まつりを盛り上げます。華やかな衣装で踊る流し踊りや迫力満点のみこしの巡行もありますので、皆さんぜひお越しください、宮代の熱い夏をお楽しみください。